

氏名	松下 恭子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4211 号
学位授与の日付	平成22年 9月30日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科生体制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目	Relative Peripheral Refraction in Patients with Horizontal Strabismus (水平斜視患者における網膜周辺部の相対的焦点誤差)
--------	--

論文審査委員	教授 西崎 和則 教授 阿部 康二 准教授 小阪 淳
--------	----------------------------

学位論文内容の要旨

水平斜視を有する児童の網膜周辺部の相対的焦点誤差が健常児童とどのように異なるかを調べる。対象は25名の水平斜視を有する児童と37名の健常児童。調節麻痺下に水平±30°方向に等間隔で各5か所に配置されたLED指標の各点を片眼固視した際の屈折度を測定した。相対的焦点誤差は各5か所で測定された網膜周辺部の屈折度から正面視の屈折度を減じて求めた。水平斜視児童は近視性の相対的焦点誤差を生じており、一方、健常児童は遠視性の相対的焦点誤差を生じていた。外斜視の児童は鼻側でばらつきが大きかった。このことは斜視眼でも固視眼でも同様に認められた。

これらのことから、水平斜視児童は健常児童とは異なる相対的焦点誤差をしめすことが初めて明らかになった。斜視による眼球の水平ずれによって生じた網膜周辺部における像のぼけが原因と推察される。

論文審査結果の要旨

本研究は、水平性斜視患者における網膜周辺部の相対的焦点誤差を両眼開放型オートレフメータを用いて測定し、健常児のそれと統計学的に有意差をもつことを示した研究である。水平性斜視の発生機序の解明に繋がる重要な知見を得たものとして価値ある業績であることを認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。